

実施日 平成十五年 十月十七日(金) 実施クラス(普通科)二年E組(男子20名) 指導者 外館克裕

科目名 「国語」(現代文・表現) 「国語総合」における「C 読むこと」

単元名 現代文・表現編「二」 評論 「教科書名」明解国語 改訂版(三省堂)

指導事項 (生活の中の思想) 「C」様々な文章を読んで、ものの見方、感じ方、考え方を広げたり深めたりすること。

単元の目標 ・オバケというサブ・カルチャーも学問の対象になることを知る。  
・カナ表記、具体例の列挙、対比、引用、逆説の表現に注目する。  
・オバケにより与えられる、生活に深みを加える思想について考える。

評価観点と評価規準 ア「関心、意欲、態度」：オバケという言語文化に対する関心を深めようとする。  
イ「聞く・話す能力」：カゲの思想について、他人の考えも聞いたうえで、自分なりの考えも話す。  
ウ「書く能力」：現代のオバケという目的に応じ、材料を観察で得て、書いていく。  
エ「読む能力」：芸術として完成された怪談の読書に親しんだりする。  
オ「知識・理解」：理解に役立てるためのカナ表記、漢字の知識を身に付けていく。

年間指導計画における位置付け 学習指導要領における「読むこと」の指導事項の年間計画の概要は、詳細を別紙に示す。これまでに、リライトされた怪異小説の面白さを知り、随筆の個性ある視座に触れ、詩の幻想に浸り、時代状況が象徴された小説を読みとき、修辞について考えてきた。

単元の指導計画 本単元の位置付けは、これらの学習をまとめるものである。オバケから言語文化について考えていく。

本時の目標 本時の目標を述べ、オバケに対する関心を確認する。本文を通読し、概要を把握する。

過程 学習内容 1 挨拶し、本時の目標を述べる。  
2 「オバケ」がもたらす生活の深みについて考える。  
3 オバケ文化の一端を示す。  
4 既習事項を確かめる。  
a 「オバケ」の指示内容  
b オバケの発生  
c オバケと幽霊  
d 「オバケ」の意味

指導者 1 挨拶し、学習する態勢を作る。  
2 本時の内容を見通す。  
3 オバケ文化の一端に触れる。  
4 前時までの学習を想起する。  
a 妖怪変化  
b 神が…矮小化しオバケになる  
c 区別がある。柳田国男説に依る。  
d 「カゲの思想」

評価の規準と評価方法 ア 学習する態勢ができていく 観察  
ア 関心は湧いたか。  
ア 自分の立場を決めている 挙手確認

導入 前時までの学習の確認  
・零落した神が、自然の中で民衆と共存するうちに、矮小化し、オバケになった。

《具体例》の検討 5 本文の《具体例》を問う。  
・「どんなオバケが、いくつ挙げられていたか。」  
・「カナ表記にも注目させる。」

《対比》の検討 6 本文の《対比》をまとめ、内容を再構成する。  
a オバケの古今／人形提示  
b オバケの西東  
c オバケと幽霊  
d オバケ、幽霊に続くもの

展開 7 非合理的な面も、その生活の中に溶け込ませる健康な合理性を検討させる。  
・表現の特徴を指摘させる  
・「非合理的な面」の指示内容  
・「合理」の意味  
・「合理性」の指示内容  
8 「カゲの思想」とは何か、つかませる。  
・系列の語を辿らせる  
・言い換えをさせる

まとめ 9 「オバケ」の意味をさらに見出させる。  
・例を提示する  
・読書案内  
10 オバケ学習の意味を振り返らせる。  
・評価用紙を配布する。5分

10 感想、自己評価を記す。

9 「オバケ」の意味を見出す。  
・…問題の解決装置、言葉遊び、文学的手法、娯楽、社会の反映

8 「カゲの思想」  
・民衆の知恵、自然崇拜アニミズム、鎮魂戒め、合理化、生活思想(ジンクス、マナーの法則、トリビア)

7 非合理的な面も、その生活の中に溶け込ませる健康な合理性を

6 本文の《対比》を整理する。  
a 跳梁者 ペット  
b 復讐者 自然に住む民衆との共存者  
c 共同体・田園的 個人主義・都会的  
超個人主義的・超都会的か)

5 《具体例》について答える。  
・テング、カッパ、三つ目大僧、一つ目小僧、ろくろ首、傘オバケ、ヤマンバ、サタン、ドラキュラ、鬼(ナマハゲ)、の九つと、平知盛幽霊が挙げられている。  
・資料に注目する。  
(・無数)

4 前時までの学習を想起する。  
a 妖怪変化  
b 神が…矮小化しオバケになる  
c 区別がある。柳田国男説に依る。  
d 「カゲの思想」

3 自分態度を決める。

2 オバケ文化の一端に触れる。

1 挨拶し、本時の目標を述べる。  
・「オバケ」がもたらす生活の深みについて考える。  
・オバケ文化の一端を示す。

《具体例》の検討 5 本文の《具体例》を問う。  
・「どんなオバケが、いくつ挙げられていたか。」  
・「カナ表記にも注目させる。」

《対比》の検討 6 本文の《対比》をまとめ、内容を再構成する。  
a オバケの古今／人形提示  
b オバケの西東  
c オバケと幽霊  
d オバケ、幽霊に続くもの

展開 7 非合理的な面も、その生活の中に溶け込ませる健康な合理性を

まとめ 9 「オバケ」の意味をさらに見出させる。  
・例を提示する  
・読書案内  
10 オバケ学習の意味を振り返らせる。  
・評価用紙を配布する。5分

9 「オバケ」の意味を見出す。  
・…問題の解決装置、言葉遊び、文学的手法、娯楽、社会の反映

8 「カゲの思想」  
・民衆の知恵、自然崇拜アニミズム、鎮魂戒め、合理化、生活思想(ジンクス、マナーの法則、トリビア)

7 非合理的な面も、その生活の中に溶け込ませる健康な合理性を

6 本文の《対比》を整理する。  
a 跳梁者 ペット  
b 復讐者 自然に住む民衆との共存者  
c 共同体・田園的 個人主義・都会的  
超個人主義的・超都会的か)

5 《具体例》について答える。  
・テング、カッパ、三つ目大僧、一つ目小僧、ろくろ首、傘オバケ、ヤマンバ、サタン、ドラキュラ、鬼(ナマハゲ)、の九つと、平知盛幽霊が挙げられている。  
・資料に注目する。  
(・無数)

4 前時までの学習を想起する。  
a 妖怪変化  
b 神が…矮小化しオバケになる  
c 区別がある。柳田国男説に依る。  
d 「カゲの思想」

3 自分態度を決める。

2 オバケ文化の一端に触れる。

1 挨拶し、本時の目標を述べる。  
・「オバケ」がもたらす生活の深みについて考える。  
・オバケ文化の一端を示す。

《具体例》の検討 5 本文の《具体例》を問う。  
・「どんなオバケが、いくつ挙げられていたか。」  
・「カナ表記にも注目させる。」

《対比》の検討 6 本文の《対比》をまとめ、内容を再構成する。  
a オバケの古今／人形提示  
b オバケの西東  
c オバケと幽霊  
d オバケ、幽霊に続くもの

展開 7 非合理的な面も、その生活の中に溶け込ませる健康な合理性を

まとめ 9 「オバケ」の意味をさらに見出させる。  
・例を提示する  
・読書案内  
10 オバケ学習の意味を振り返らせる。  
・評価用紙を配布する。5分

オモテとウラがあるという「もの見方、感じ方、考え方を広げ」ようとしている。  
現在の日本人に対する自分の考え方を深めたり発展させたりする。

カゲの思想「言語生活の在り方」  
「国語の授業を学ぶ会」平成十五年 十月 一日、桜城小学校、藤井実践



平成15年度 国語科 年間指導計画

担当者	学年	コース	組	科目	単位数	教科書	出版社	備考 (共同で成績を算出する者、また算出方法、副教材等)
外倉克裕③	高校2	特進-	E	国語II	2/6	明解国語II改訂版	三省堂	和田先生、50:50、課題1-1、新編総合国語

月	単元名	時間数	単元の目標	評価の観点					評価規準	評価方法	学習内容	教材	他教科・総合学習との関連	備考
				関心 意欲 態度	話す 聞く 能力	書く 能力	読む 能力	知識 理解						
4	小説①	6	リライトの面白さを知る				○	○	リライトの面白さを分か りたがること	行動の観察 小試験	書き変えリライト、主題	清貧譚	日本史	初めの教科書に小説 表現の感想を書く
5	随筆① ②	2 2	文明について考える ものの見方を変える	○			○	○	文明への批判意識は 別役の視座が分かること	記述の日記	文明論 別役実	眼差しと文の喜び 迷う犬	美術	願いそうに
6		1	エモアについて考える	○					エモアの初果に注目 すること	筆記試験	エモア	《エモアと情緒》 *		
7	詩	4 1	近現代詩を味わう 手紙のよさを覚える				○	○	それぞれの詩の特徴 を味わうことのできたか	行動	ソネット/俳句/漢詩 五七調/漢詩	一つのソネット/俳句 小景異情/絶句 《文の目》		
8	小説③	6	象徴を読む				○	○	さまざまな象徴を読み とらえること	小試験	象徴、時代状況	△ 蘭		
9	評論①	4	修辞について考える		○	○			ことができたか 修辞の意識を持つこと ができたか	筆記試験	修辞	レトリック/感覚 *		
10	評論③ 短歌	4 4	生活の中の思想に注目 近現代の短歌を味わう	○			○	○	生活の中の思想に注 目することのできたか 短歌をすすんで読み書き することのできたか	行動	民俗学、対比	木竹 髪五尺		
11	随筆③ 評論②	2 2 1	現代社会を見直す 国際化について考える 文化の違いを知る	○	○				現代社会を見直すこと ができたか 差別の意識を持つこと ができたか	筆記試験	時間論、ミロエロ 差別 異文化	考えさせられる答 えの国際化 《異文化》	英	
12	随筆④ 評伝	3 3	表現への関心を高める 評伝に角張れる	○	○				表現への関心は高ま るか 評伝がどのようなものか が分かるか	記述	婉曲表現 評伝といふ新式	蓮村の表現 土木の神様 服部	教	
1	小説②	8 1	長編小説に及ぶ短編 ショート・ショートを楽しむ				○	○	長編小説に読み添 えられたか ショート・ショートを楽 しめたか	小試験	構成、比喩、利己	△ こころ 《花》		
2	評論④	3	科学読み物を読む	○			○		生命の起源についての 関心は高まったか	筆記試験	生命の起源の諸説	生命の起源 *	生物	
3	随筆⑤	2	日本文化を考える	○			○		日本の文化について考 えられたか		日本文化論	お月見		

提出者：延べ11名……全員出しました。

- 1. 「オバケ（幽霊、妖怪）」を思いつくだけ挙げてみよう。
- ×5：ぬらりひよん

- ×4：河童（かっぱ）、山童、雪女

- ×3：座敷童（ざしきわらし）、砂掛け婆（すなかけばあ）、（トイレの）花子さん（80年代に流行した。↓関子さん）、一つ目小僧、磯崎（ろくろくび）、猿り登（ぬりかべ）

- ×2：垢耨め（あかなめ）、天の邪鬼（あまのじゃく）、一反木桶、鬼、九尾の狐・妖狐（『地獄先生ぬ〜べ〜』にも登場しているらしい。）、口裂け女（19年春〜夏に流行した。ゲーム「ベルソナ」にも登場する。）、子泣き翁（子泣き爺の呼称が一般的だろう。跡掛時婆の夫ではない。）、天狗・熱天狗、二宮金次郎

- ×1：唐坊主、唐傘（からかさ）、コックリさん、（動く）人体模型、トーフ小僧、人魚、鰻（ぬえ）、枕返し、やまびこ、妖怪人間ベム、ペラ・ペロ、山の神？雪男？

「おとこ」の仲間か。」

「おとこ」の仲間か。」

「おとこ」の仲間か。」

「おとこ」の仲間か。」

「おとこ」の仲間か。」

「おとこ」の仲間か。」

「おとこ」の仲間か。」

「おとこ」の仲間か。」

「おとこ」の仲間か。」

「おとこ」の仲間か。」

「おとこ」の仲間か。」

「おとこ」の仲間か。」

「おとこ」の仲間か。」

以津真天（死鬼）、おんぶおばけ、百々目鬼、二口女、お歯黒べつたり、バウチ、鎌車、舞い首、七人ミサキ、陰摩羅鬼、釣瓶おとし、船幽霊、猫又、人食いモナリザ、九十九神、おとなりさん、守渡書、疫病神、身代わり地蔵、災魔鬼、野槌、四面宿禰、火車、

「ゴロボツクル、火の玉、狼男、ゾンビ、赤紙青紙、UFO、ゴブリン、フェアリー」

- 2. 「オバケ」についてどう思うか。述べよう。

宗教の神様と同じで、どこかの誰かが勝手に作ったものを恐れられたり敬ったりして  
人間に危害さえ加えなければ、面白いかも、でも人間に危害を加える奴は最悪だ。  
恐ろしいものでもあり、親しみを持てるものでもある。  
心霊現象が起きているみたいなので、いると思う。  
入の自然へのおそれが形になったものと思う。  
親のいうことをきかない子どもへの脅し。  
日本のオバケは親しみがあっていい。  
いないと思う。

- 3. 「恐さ」とは何か。考えよう。

「ドラゴンヘッド」というマンガで、「恐怖」について書いていた。最後の方で、  
主人公は、薬によって「恐怖」を離れた人々に出会う。でも、その人々は、人格を  
失い、失った恐怖を取り戻そうと、自分の腕を切り落としたり、骨を自分でへし折  
つたりしていた。それを見て、主人公は、「恐怖を知らないってことは、死に鈍感  
ってことなんだ。でもそれは生きてることにも鈍感ってことだったんだ」と言った。  
その通りだと思う。  
今まで見たことのない、不気味なものを見たり、今まで体験したことのない、姿  
な体験をした時に感じるものだと思う。  
自分には叶わないと感じて、どうすることも出来ないときに感じる感情。  
生理的に嫌悪を感じる状態。  
背筋に寒気が起こること。  
チキンが怖がる。  
自分の何かに害が与えられることを避けたいと考えること。  
理解を越えること

- 4. 「オバケ」を考え出してみよう。

キレる暴力妖怪。自分に少しでも気がくわないうことを言われると、すぐにキレて  
暴言を吐いたり、ものに当たったり、人に暴力をふるったりする。困った妖怪。  
土下座おぼけ。ひたすら土下座し続ける。土下座することがくせになったサラ  
リーマンのおぼけ。  
ちりなめ。部屋のちりやほこりをなめとって掃除する。  
悪戯オバケ。人間の悪戯ばかりするお化け。  
まねオバケ。自分では何もできないオバケ。  
フケなめ。フケを替める。  
金貸し妖怪  
妖怪テクリ

※外部の手元にあった本の一部

テング 関連

○平田篤胤『仙境異聞』岩波文庫、

○高野聖『江戸の天狗騒動』読光新聞社、

96

○松谷みよ子『現代民話考』河童・天狗・神かくし』(85↓)ちくま文庫、

03・4

カッパ 関連

○芥川龍之介『河童』

舌切り雀 関連

○関敬吾編『桃太郎・舌切り雀・花さか』

題 日本のおばなし』岩波文庫

ヤマンバ 関連

○柳田泉男『遠野物語』岩波文庫

○後藤豊一郎監修『遠野常民大学編』

『注釈遠野物語』筑摩書房、97

民俗学 関連

○『柳田泉男全集』10 桃太郎の誕生』

ちくま文庫、90・2

○折口信夫……角川文庫

○宮田登、小松和彦、鎌田東二、南伸坊

『日本異界絵巻』河出書房新社、

90・8

○小松和彦『鬼の玉手箱 外部性の民俗学』楳武文庫、(86↓)91・4

鶴屋南北 関連

○鶴屋南北作、河竹繁俊校訂『東海道四谷怪談』岩波文庫、1956一刷、

84十三刷

○広末保『四谷怪談』岩波新書

○落合清彦『百鬼夜行の楽園 鶴屋南北の世界』新元ライブラリ、(75↓)

97・10

○塩川清司『鶴屋南北間狂言繪の正歩』

ちくま文庫、(93↓)99・5

○京極夏彦『喰う伊右衛門』角川文庫、

三遊亭内膳 関連

○三遊亭内膳作『怪談牡丹燈籠』岩波文庫、55一刷、02改版一刷

○三遊亭内膳作『真景累ヶ淵』岩波文庫、

56一刷、90四刷

○矢野龍一『三遊亭内膳の明治』文春

新書、99・7

○道徳明範『真牡丹燈籠』学研M文庫、

01・7

○道徳明範『真怪談累ヶ淵 鶴屋南北』

学研M文庫、02・1

小泉八雲関連

○辻真先『小泉八雲殺人風土記』光文社

文庫

○山田太一『日本の面影 ラフカディオ・ハーンの世界』岩波現代文庫、

(84↓)02・10

その他

○『平太郎化物日記』飯谷小波お伽噺

文庫、76・8

○北杜夫『マンボウ雑学記』お化けについて』岩波新書、81

○高田節『新編江戸の悪霊紋いぬ』

ちくま学芸文庫、(91↓)

94・11

○京極夏彦『結髪鳥の夏』講談社ノベル

ス、94・9

○京極夏彦『悪魔の舌』講談社ノベルス、

95・1

○京極夏彦『狂骨の夢』講談社ノベルス、

95・5

○京極夏彦『鉄鼠の檻』講談社ノベルス、

96・1

○京極夏彦『結婚蜘蛛の理』講談社ノベ

ルス、96・11

○別役実『もののけづくし』ハヤカワ

文庫、(93↓)99・4

○中江克己『日本史「謎の人物」の意外

な正体』PHP文庫、99・11

○中江克己『江戸の怪 八百八町謎の事件簿』祥伝社黄金文庫、

2000・10

○小野十伝『守護おばけ占い』幻冬舎

文庫、2000・11

○京極夏彦、多田克己、村上健司『妖怪馬鹿』新潮OH文庫、01・2

○二階堂善弘『中国妖怪伝』平凡社新書、

03・3

○京極夏彦『怪談百物語』角川文庫、

(99↓)03・6

マンガ

○水木しげる『カッパの三平、悪魔くん、ゲゲゲの鬼太郎』

93・2

○つのだじろう『マンガ日本の古典32 怪談』中公文庫、

(95↓)01・11

○『池上直一珠玉作品集1かさね』

講談社コミックス、03・3

雑誌

○『幻想文学』47 怪談ニッポン！』

96・6

○『幻想文学』55 京極夏彦考』

99・5

○『コミック乱特別編集怪談』03・7

99・5

○『コミック乱特別編集怪談』03・7

99・5

○『コミック乱特別編集怪談』03・7

99・5